

カフェテリアプラン 要点まとめ



※当資料に従うことで、法令違反がないことを保証する資料ではありません。
※あくまで参考としてご利用いただくことを想定している資料です。実際の制度内容は国の資料等をご確認ください。
※当資料は、2025年4月時点の内容となっております。最新の情報は国の資料等をご確認ください。

カフェテリアプランは、企業が用意した福利厚生メニューの中から、従業員が自分のニーズに応じて自由に選べる制度です。1970年代の米国で、多様化する従業員のライフスタイルに対応するために始まりました。

主なメニュー例：

健康増進支援：人間ドック費用補助、予防接種費用、健康管理施設利用料など

文化・レジャー活動支援：文化・芸術鑑賞費用、スポーツ観戦費用、旅行費用補助など

教育支援：自己啓発講座受講料、資格取得費用、書籍購入費補助など

育児・介護支援：ベビーシッター利用費用、介護サービス利用費用補助など

カフェテリアプランのメリット

満足度の向上：自分に合った福利厚生を選べるため、モチベーションや忠誠心が高まる

多様性の尊重：ライフステージや価値観の違いに柔軟に対応

コスト効率化：不要なサービスを削減でき、企業の予算管理に繋がる

カフェテリアプランのデメリット

選択の複雑さ：選択肢が多すぎて迷いやすく、説明やガイダンスが必須

コスト増加のリスク：人気のメニューに需要が集中すると、予算調整が必要になる

管理や運営の複雑さ：運用管理に手間がかかるため、システム整備が重要

カフェテリアプラン導入時のポイント

プラン設計：ニーズと予算に応じたメニューとポイント配分を設計

税務確認：ポイントの利用内容により課税対象になるため、事前に確認

従業員への説明：制度の目的や使い方をわかりやすく伝える

オンライン管理システム：選択・変更を効率化し、利用状況も可視化

継続的な改善：フィードバックを反映し、制度をブラッシュアップ

| ポイントの使い方ポイントの活用とメニューの工夫

カフェテリアプランのポイントは、従業員が自分に合った福利厚生を自由に選ぶための仕組みです。健康支援や教育、レジャー、育児など多様なメニューの中から選べるほか、プランのアップグレードや追加サービスにも使えます。ポイント数は職位や給与に応じて決まります。

制度を適切に設計・運用することで、従業員の満足度向上につながります。企業にとっても、働きやすい環境を整え、エンゲージメントを高める有効な手段となるでしょう。